307-91
1200501369450
307
91

陽明文庫圖録

第三輯
豫樂院

始

昭和十六年十一月

陽明文庫圖錄

第三輯

豫樂院

財團法人 陽明文庫版

目次

一　豫樂院家凞公像
二　二首和歌懷紙
三　三首和歌懷紙
四　重脩物外廬記・者樂觀記
五　陶淵明四時詩
六　草書一行
七　佐理卿七百年忌寫經跋稿
八　一字蓮台心經
九　弘法大師九百年遠諱寫經跋稿
一〇　李嶠雜詠
一一　古歌色紙
一二　古今集
一三　色紙貼交屏風
一四　新三十六歌仙歌
一五　眞言七祖像楚漢名號
一六　忠孝二大字
一七　鐘馗圖
一八　竹　圖
一九　東坡竹譜
二〇　蜻蛉圖
二一　白鷺圖
二二　瓢　圖
二三　花木眞寫
二四　同　上
二五　印　譜

307
91

豫樂院家熙公略傳

公は近衛家第二十一代を嗣げる人にして、父は應圓滿院基熙公、母は後水尾天皇の皇女常子内親王である。今年より二百七十五年前、靈元天皇の寛文七年に生れ、累進して關白從一位に上り、寶永七年には太政大臣に任せられ、享保十年十二月には准三宮を授けられて出家、法名を眞覺と號した。櫻町天皇の元文元年十月、七十歳を以て薨じ豫樂院殿と謚した。別に虛舟、青々林、白觀主人の道號がある。

その書道、學問、畫事、茶事に於ける造詣の深きことは當代第一人者と稱するも過言ではない。學問に於ては唐六典の對校を企てられたる如き、又流代草書の編輯をなせる如きその見識の卓絶せるを見る。茶事に關しては有名なる槐記あり、是亦茶道指針の名篇として後世に影響する所多く、畫事に關しても草木花卉の眞寫を始めとして既に一家をなした觀がある。殊に墨竹を最も得意とし遺品少からず。併し豫樂院の最も名高きは書道である。第二圖に掲げたる懷紙の如き十歳の時とも見えざる腕前である。古今名蹟の臨摹に專念したる事實は幾多の遺品によつて證明せられる。その尤も私淑せるは入木道の祖と仰がられる弘法大師であつて、大師の命日に際して認めたる心經は楷行草隷の各體を交へて十數卷の大卷をなしてゐる。又道風、佐理、行成を問はず、假名の名蹟を學んで上代樣をよくし、唐樣和樣の大家として近世書道の巨擘と仰がれる所以である。從つて古今の名筆典蹟に對する眼識力と愛好心深く、近衛家の重寶が今日まで擁護せられたのは實に公の力が與つて大なるものと謂はねばならない。

昭和十六年十月

一　豫樂院家凞公像（絹本着色）一幅

西王寺九峰和尚賛

冬日詠二首和歌

權中納言藤原家熙

年内梅

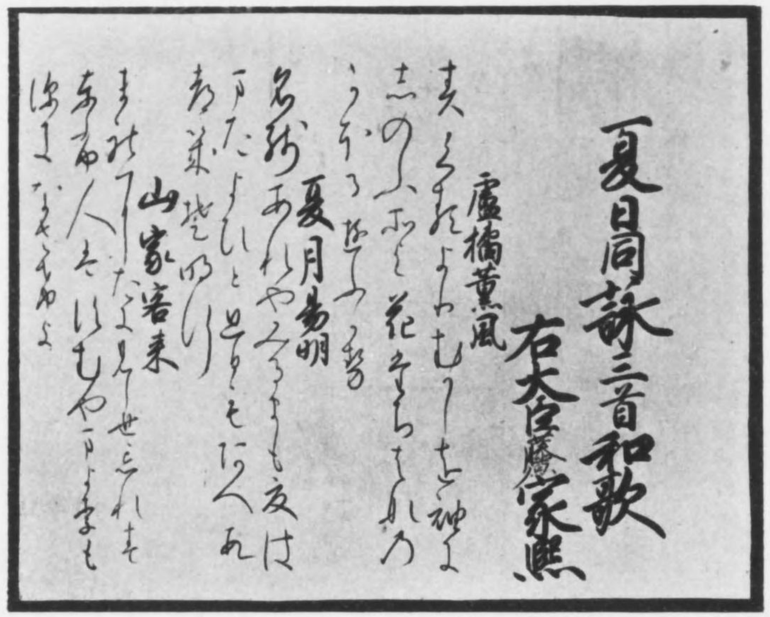
ふるとしのゆきさへ
一年のはるをまちひらける
梅の初花

氷

池のみのあしたのなれも
こおりとちかくなりてゆく
月のさやけさ

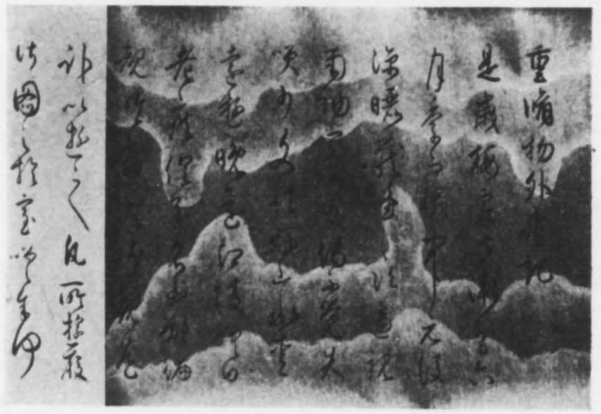
二首和歌懐紙 十歳時

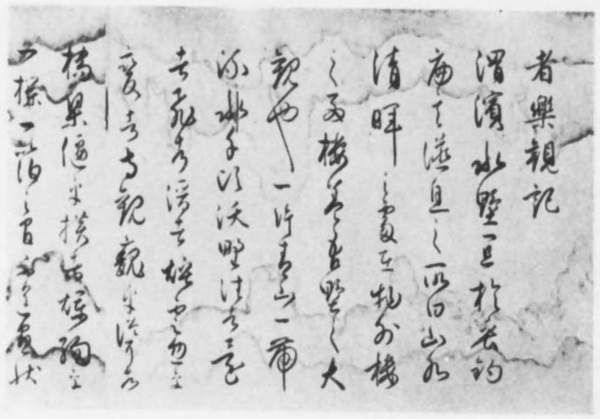
一幅



三首和歌懐紙　干時左大臣

一幅





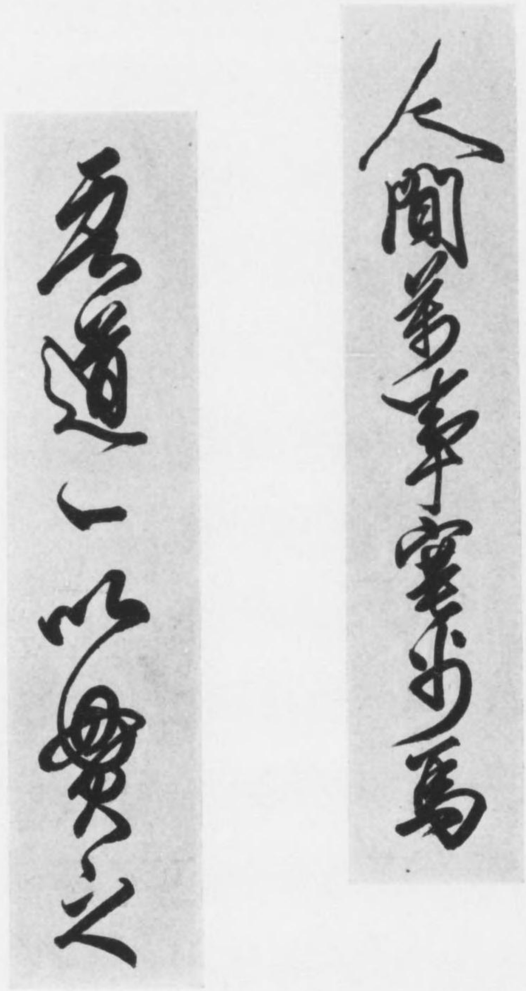
四　重脩物外廬記
　　者樂觀記　一卷

（奥書）享保甲寅秋九月下旬　虚舟叟書

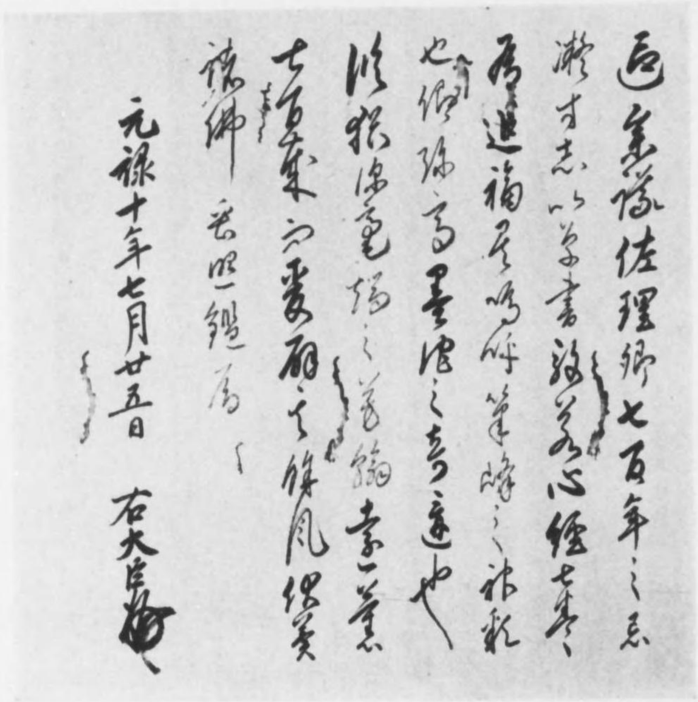
春水滿田澤
夏雲多奇峯

秋月揚明輝
冬嶺秀孤松

五　陶淵明四時詩（自筆隸楷行草）　二幅



六　草書一行　二幅



元禄十年七月廿五日　右大臣

七　佐理卿七百年忌寫經跋稿　一通

般若波羅蜜多故得阿耨
多羅三藐三菩提故知般
若波羅蜜多是大神呪是
大明呪是無上呪是無等
等呪能除一切苦真實不
虛故說般若波羅蜜多呪
即說呪曰
揭諦揭諦波羅揭諦波羅
僧揭諦菩提薩婆訶

右用
毛紙無上法院玉巻紙紅而
印護華下經中伏其
等價高登九品蓮臺速成三
身大果矣
元禄十五年九月廿六日
右大臣家厩殺書

八

八　一字蓮台心經　先妣無上法院供養經　一巻

朱色ノ蓮臺ハ御母ノ口紅ヲ以テ印セシモノナリ

伏惟弘法大師德交光於雨曜慈垂澤於萬世是茲值九百年遠講
聖朝　敕開大法會於東寺西院特擢覺勝院僧正了恕充法務職以為導師僧正預教余寫般若理趣經自書梵文當日密誦於壇上焉事完請復跋諸竊思毗盧遮那金剛法性秘密平等法門甚深不可思議而況遇斯難遭之良緣乎噫何又多幸是以不辭

享保十九年三月　　准三宮真覺書

李崎雜詠

乾象十首

日

日出扶桑路遥昇若木枝
雲間五色滿霞際九光披
東陸蒼龍駕南郊赤羽馳
傾心北蔡藿朝夕奉堯曦

月

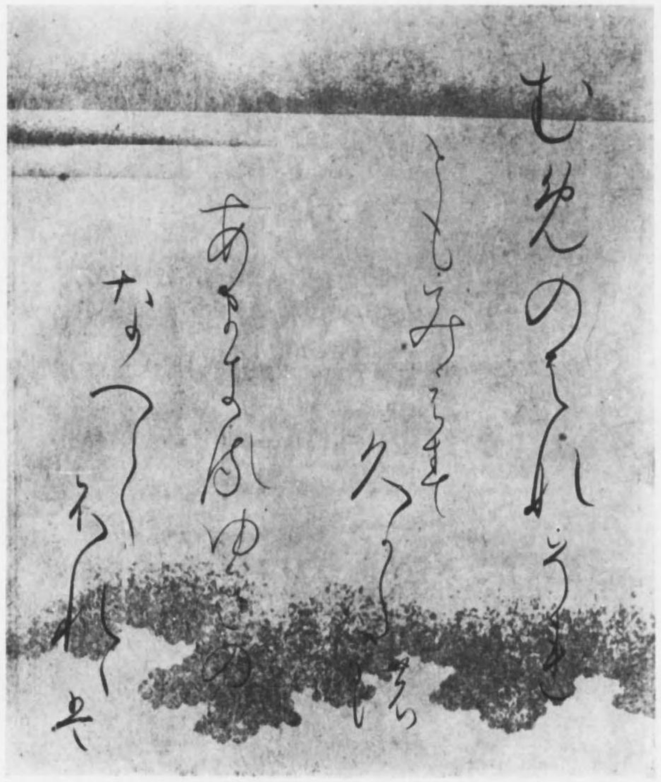
桂生三五夕莫開二八時
分暉度鵲鏡流影入蛾眉
皎潔臨疎牖玲瓏鑒薄帷
顧陪北堂宴長賦西園詩

星

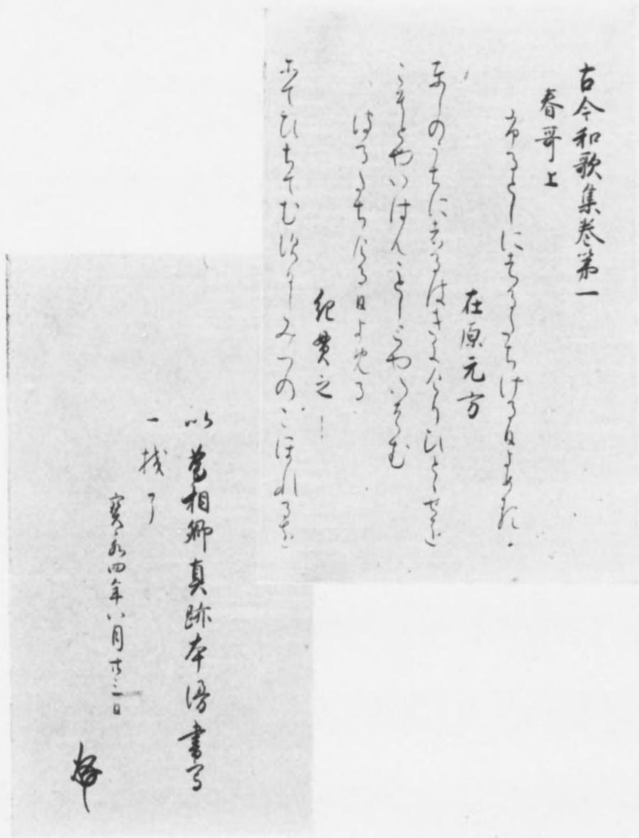
蜀郡靈槎轉豊城寶氣新
將軍臨北塞天子入西秦
未作三台輔寧為五老臣
今霄潁川曲誰識聚賢人

一〇 李崎雜詠 家熙公寫 四帖ノ内

建治三年本ヨリ轉寫セリ

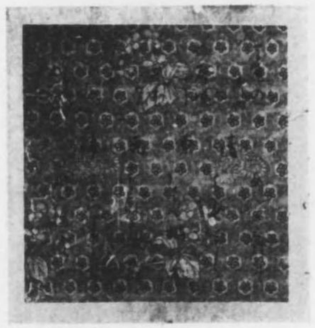


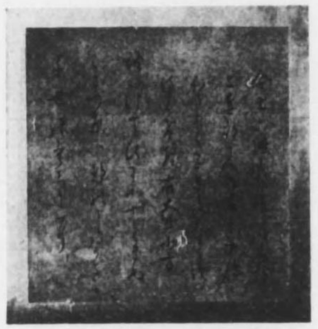
一一　古歌色紙　一幅



一二　古今集　家熙公寫　二帖

冷泉爲相自筆本ヨリ轉寫セリ



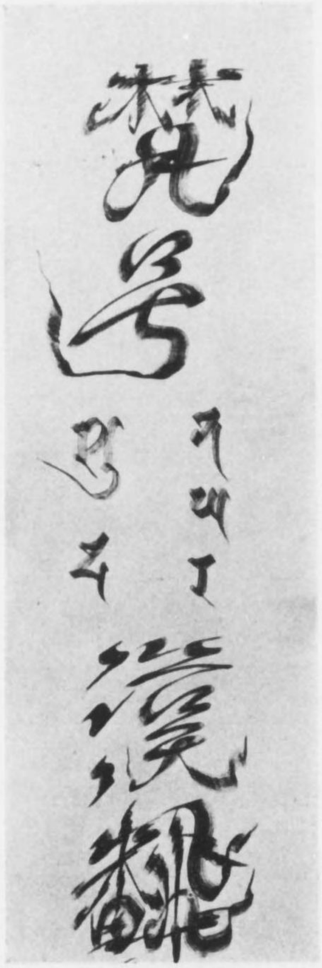


一三　色紙貼交屏風

一隻ノ内

一四　新三十六歌仙歌　一幅

（下方略）



一五　眞言七祖像梵漢名號（飛白體）
家禦公寫　一卷

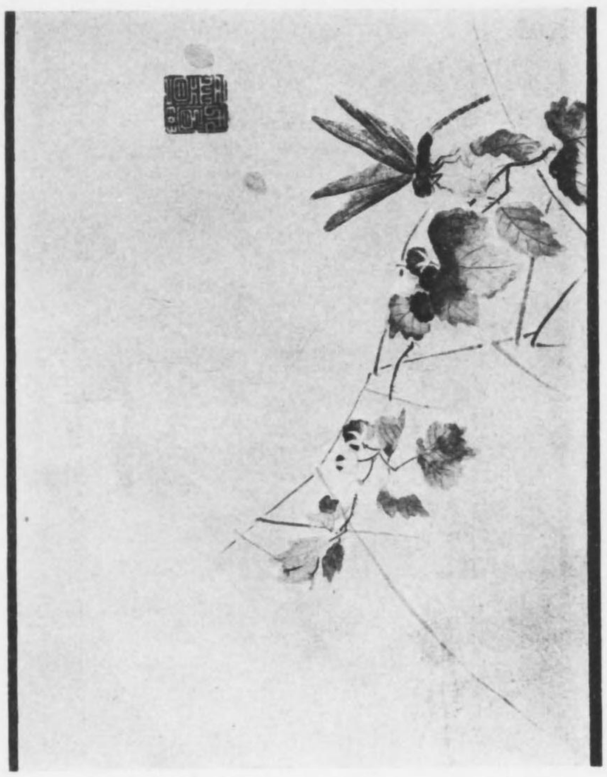
一六　忠孝二大字　一幅

一七　鐘馗圖　十干時歲　一幅

一八　竹　圖　一幅

「貞覺之印」アリ

一九　蘇東坡竹譜　家熙公寫　　一卷



110 蜻蛉圖　　1幅

「貞愛之印」トリ

111　白鷺圖　　1幅

「貞慶之印」トリ

二三　瓢　圖　畫賛　一幅

二三　花木眞寫　三卷ノ内

二四　花木眞寫　三卷ノ內

二五　印　譜（原寸）

307
91

陽明文庫圖錄 第三輯 豫樂院

昭和十六年十月二十日印刷
昭和十六年十一月一日發行

須價金貳圓

東京市麴町區飯田町三ノ四 靖山會館
陽明文庫
編輯兼發行者 水谷川忠麿

東京市品川區大崎本町三ノ六八三
印刷者 田中松太郎

東京市品川區大崎本町三ノ六八三
印刷所 半七寫眞製版印刷所

東京市麴町區霞ヶ關三ノ四 霞山會館
財團法人 發行所 陽明文庫

終